

しまねソフト開発センター(ITOC、松江市)は地元発のプログラミング言語「Ruby(ルビー)」の進化版を小規模河川の水位計測に応用する実証実験を始めた。全国で大雨による河川氾濫の被害が生じており、消費電力が少なく小型の精密計測器による観測システムの構築を目指す。11月までに新バージョンを開発し、展示会などで採用を訴える。

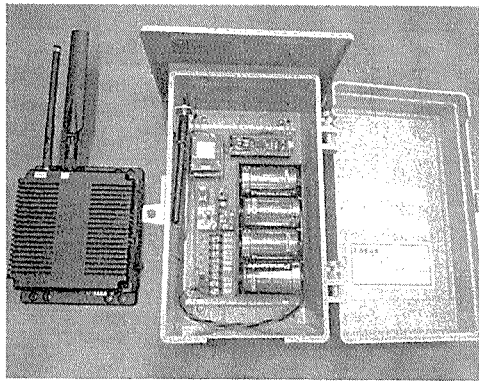
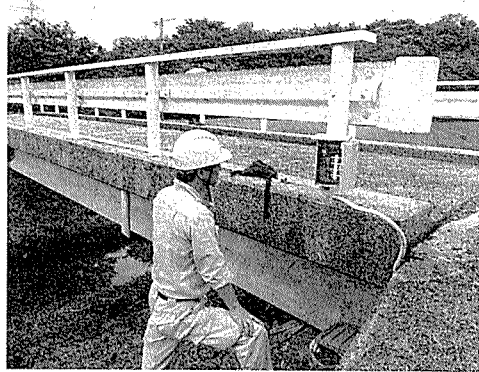
水位センサー応用めざす

このプログラミング言語「Ruby」は、島根県が運営するITOCが今年1月に開発した。このほど、藤井基礎設計事務所(松江市)と共同で出雲市斐川町内の川に付近に「Ruby」を組み込んだ雨量・水位センサーを設置。10月末まで水位の変化をリアルタイムで観測する。電力消費量の少なさを実証

しまねソフト開発センター

進化版「Ruby」実証実験

松江発プログラミング言語



藤井基礎設計事務所と取り組む雨量・水位センサーの実証実験(島根県出雲市、写真上)。データ取得・送信機の中に「Ruby」を組み込んだ基板を配置した

クルーズ船寄港 四国好調

1~7月 高知23回、昨年と並ぶ

四国地方整備局がまとめた1~7月の四国4県各港へのクルーズ船の寄港実績は50回と前年同時期の28回を約8割上回った。このうち外国船は38回と2016年1年間の36回を上回った。特に高知新港が好調で、すでに23回と16年1年間の実績に並んだ。

高知新港には7月、神戸船柱や防舷材の整備を進め、国内・外国船を問わず日本各地を巡る際の寄港先として定着しつつある。

高知県観光コンベンション協会の担当者は「何れもクルーズ船を利用しているリピーターが増えているようだ。宿泊を伴う旅行につながりたい」と語る。

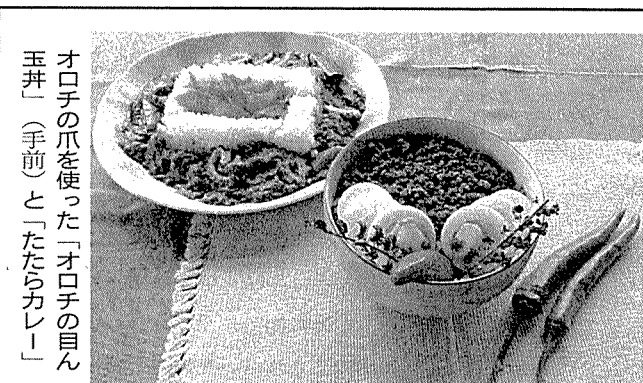
このほか宇和島港は1

「Ruby」(エムルビースラッシュ)の完成させた。今年1月に完成させた。Rubyを使うプログラムの特徴はコンピュータ起動時にメモリ消費量が少ないこと。ルビースラッシュは50キロワット未満で稼働できる。電力消費量も格段に少なくなると、電池を小さくして精密機器の小型化や、屋外の長時間稼働が可能になる。

産業機器などあらゆるモノがネットにつながる「IoT」用のセンサーにも応用しやすいという。

河川の防災・減災につながる観測システムの構築を目標にする。雨量計は1カ所、水位計は3カ所に設置した。受信機にデータを集め、藤井基礎設計事務所のサーバーに送信。インターネットを通じて、同設計事務所とITOCがパソコンやスマートフォンなどで雨量や水位を把握する。

最近、全国各地で大雨被害が相次いでいるが、気象庁などが防災情報として発信する水位の計測は大規模河川に限られて



炎(ひ)を吹く辛さ。島根県雲南市のリンシート施設、「吉田グリーンシャワーの森」の食堂で提供されている「オロチの目ん玉丼」のキャッチフレーズだ。ご飯に載せる食材の中で、顔に見立てた唐辛子を混ぜ合わせた。目玉(卵)の下の「炎」は唐辛子煮を使用した。

島根・雲南の唐辛子「オロチの爪」

炎の辛さ 目ん玉丼

食材を口にすると舌先が瞬間に痺れるが、キャラ栽培が広がった。ツチフレーズと異なり、全長10~15センチの特大ほのかな甘みを感じるマールドな辛さだ。「唐辛子を刻んで炎に見立てたから市内の2つの農事組「たたらカレー」と並ぶ。韓国人が栽培する。地域人気メニュー」と調理担当の特産品に育てようと、当の松島俊枝さん。

雲南市は唐辛子の生産に商標登録した。現在、が盛り。中山間地のためオロチの爪を使ったライオンシシによる農作業被メン、ソフトクリームなどが深刻だが、唐辛子などが市内の道の駅などで販売されている。

山口FG、地域振興講座

来月から、国交省と開催

山口銀行、もみじ銀行、体関係者や企業向けでPFI(民間資金を活用した社会資本整備)や、行政機関が持つ情報や仲介機能を民間の再開発事業などに生かすPPP(パブリック・プライベート)

は9月4日に北九州で行うほか、5日に山口グラウンドホテル(山口市)、6日にもみじ銀本店(広島市)で行う。参加費はいずれも無料。

山口FGでは、地方創生コンサルティング子会社のYMF ZONE プランニング(山口県下関市)が3月に国交省と官民連携協定を結んでおり、セミナーが協定事業の第1弾となる。

高輪化が進む町の活性化を目指す。共同代表の高島登里さんは「体験を通じて上関の自然の素晴らしさを伝える必要がある」と話す。

下水路の形で、避難路となる道路沿いにある場合が多い。避難時にそうした水路に落ちて流される事故が発生しているため、事故防止に向けた対策づくりにつなげる。藤井基礎設計事務所は実証実験後、製品化に向け検討する。

Rubyは現在「安定版1.0」としてITOCのサイトで公開中。だれでも自由にダウンロードして使える。11月までにプログラマーがより操作しやすとした新バージョン「1.1」を公開する。

普及に向けたPRにも積極的に取り組む。11月15~17日にパシフィコ横浜(横浜市)で開かれる組み込み技術に関する総合展示会「ET 2017」(組み込みシステム技術協会主催)に出展する。11月1~2日に島根県立産業交流会館「くにびきメッセ」(松江市)で開かれるルビー普及を目的とした会議「Rubyワールドカンファレンス2017」(同開催実行委員会主催)でもRubyを紹介する。

二十世紀梨味 サイダー発売

アサヒ飲料は「三ツ矢サイダー」シリーズで、鳥取県産二十世紀梨の果汁を使った「特産三ツ矢」を29日に発売する。3カ月の期間限定販売で、全国のスーパーやコンビニで720万本程度出荷を見込んでいる。売り切れれば販売を終える予定。460ミリ入りペットボトルで希望小売価格は150円(税別)。

同社は3月から厳選した国産果実を生かした特産シリーズを発売。愛媛県産のかんきつの一の清見、北海道産らいでんメロンに続く第三弾となる。加熱を抑えて果実の風味を生かす独自製法を採用したという。

四国経済産業局は、日本と欧州連合(EU)が大枠合意した経済連携協定(EPA)について、経済産業省の担当者が9月1日に開く説明会を9月1日に開く。説明会を9月1日に開く。